

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
特別演習 1											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	岩田 明士、他			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年行う。 資格：一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級											
授業概要											
この科目を受講する学生は、建築の創造活動が協働の場であることを理解し、実践的な課題に取り組むことを通して、総合的に建築の設計、設計手法について学ぶ。現代社会が抱える問題に対して建築にどのような役割が求められており、どのように建築的な解決をすれば良いのかを理解できるようになるのが学習目的である。											
到達目標											
この科目では、敷地およびその周辺の場所の観察・分析を通して、その場所にふさわしい建築空間を企画・提案し、理論的な設計意図を持った具体的な建築物としてプレゼンテーションできる力を養うことを目標にしている。この課題を通して、場所や条件を読み解く力、発想する力、具現化する力、プレゼンテーションする力を身につけ、限られた時間内で完成させることが到達目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
『第3 版コンパクト建築設計資料集成』、課題資料、参考資料を配布し、参考書等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	課題説明／事例説明／グループ 課題の主旨を理解する／グループで事例を調べる方法／グループ分けと役割分担										
第2回	事例研究発表会／敷地調査の説明 他グループが調べた事例も理解し事前知識を増やす／敷地調査の方法を知りGW中に各自サーベイ										
第3回	エスキース（1） ゾーニングとボリュームの検討／提出：敷地調査チェック										
第4回	エスキース（2） ゾーニングとボリュームの検討／提出：スタディ模型①②＋ゾーニング図（セットで2 案以上）										
第5回	エスキース（3） 図面化／提出：スタディ模型③＋平面図・断面図										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
特別演習 1	
第6回	中間発表会 プレゼンテーション／コンセプトと具体案の妥当性を検証／提出：スタディ模型④＋平面図・断面図
第7回	案の決定 指導教員と最終セッション／提出：最終スタディ模型⑤＋平・立・断の下描き図
第8回	各自作業（自宅） 各自最終CAD図面（平・立・断）／プレゼンテーション模型を進める
第9回	プレゼンテーション模型（1） プレゼンテーション模型／提出：最終CAD図（平・立・断）のチェック→手直し
第10回	プレゼンテーション模型（2） プレゼンテーション模型／提出：ダイアグラム＋レイアウトのチェック→手直し
第11回	プレゼンテーションシート（1） プレゼンテーションシート／提出：模型写真＋コンセプト文→手直し
第12回	プレゼンテーションシート（2） プレゼンテーションシート／提出：プレゼンテーションシート（A3縮小版）のチェック
第13回	最終講評会 これまで構築してきた理論的建築を他者に伝える／考え方の異なる他者の作品を鑑賞する
第14回	即日設計仕上げ&講評会 完成提出／講評会で自分の瞬発的な発想力と表現力を検証する